

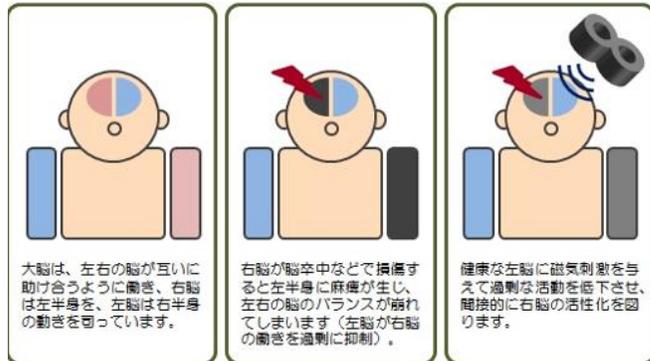
# 運動麻痺に対する 磁気刺激治療研究班

For Motor Paralysis Magnetic Stimulation Therapy Research Group

## 研究班の活動内容

Research Group Activities

rTMS（反復性経頭蓋磁気刺激）治療とは、コイルを用いて、頭の外側から大脳局所を磁気刺激し 渦電流を利用する治療法です。患者さんは安静にしているだけで、痛みや苦痛をほとんど伴うことはありません。rTMS治療は、障害により生じた脳機能のアンバランスを修正するものであり、『健常な大脳組織を刺激したり、障害を受けた脳を刺激したり、患者さんによって磁気刺激を打ち分けながら、障害をうけた脳の機能が活発に起きるようにする』治療です。



これは、新しい概念である『ニューロ・リハビリテーション』の概念に基づき、脳のもつ回復力を最大限に引き出そうとする治療法』として、世界的にも非常に注目され確固たる治療法となっています。特に、当講座でおこなっている「NEURO」とは、世界的に先駆けてrTMSとこれら集中的リハビリテーションを同時に行うこと治療法を臨床化して体系化したもので、当講座の関連病院にておこなっております。本研究班では今後も脳卒中後遺症による運動麻痺に対するrTMS治療を中心に、運動麻痺に対する治療の研究をおこなっていきます。

## 研究テーマ

Research Themes

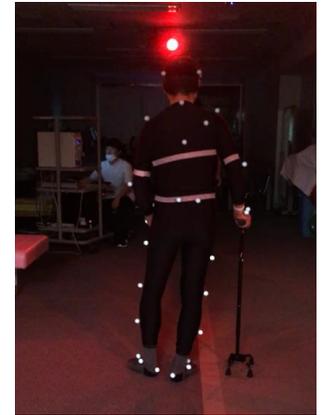
- 脳卒中後の上肢および下肢運動麻痺に対するrTMS治療
- 脳卒中後の上下肢痙縮に対するrTMS治療
- 痙縮に対するボツリヌス療法とrTMSの併用治療
- 脳卒中後重度上肢麻痺に対するrPMS治療
- rTMS刺激中の麻痺側運動による治療
- 体外衝撃波装置を用いた痙縮治療
- rTMS治療と併用する運動療法の研究



磁気刺激治療器



体外衝撃波治療器



三次元動作解析装置

アドバイザー	船越 政範	栃木県立リハビリテーションセンター
リーダー	吉田 健太郎	青森新都市病院
メンバー	中山 恭秀	東京慈恵会医科大学附属病院
	木村 郁夫	国際医療福祉大学三田病院
	木下 翔司	東京慈恵会医科大学附属病院
	鈴木 慎	東京慈恵会医科大学附属病院
	江崎 祥太	西広島リハビリテーション病院
	知野 俊文	東京慈恵会医科大学附属第三病院



研究班リーダー  
吉田 健太郎 助教